

電気事故アンケート調査結果について

平成20年度より、電気事故報告を行った設置者に対しアンケート調査を実施しました。

平成20年度に発生した波及事故166件のうち91件の設置者から回答を頂きました。

アンケート結果及び主な意見を紹介します。

※項目によっては未回答もあります。

Q1.電気事故後に保安に対する意識の変化はありましたか？

保安に対して意識するようになった 78件 (86%)

特に変化はない 9件 (10%)

その他 4件 (4%)

- ・ 従来より、電気保安法人から指導されており意識はあった。
- ・ 事故前から意識はあった。

事故後、多くの方が保安に対する意識が変わりました。

Q2.事故後、対策をしておけばよかったと後悔した事がありますか？

はい 59件 (65%)

- ・ 古い機器の更新
- ・ PAS、UGS、避雷器、結露防止装置を取り付けておけばよかった。
- ・ 電気管理技術者から忠告どおりUGSを付けていればよかった。
- ・ 帰宅時は工場内のブレーカーを切る。
- ・ 雷が来たらすべてのブレーカーを切る。
- ・ 保険に入っておけば良かった。
- ・ 高圧ケーブルの位置を確認しておけばよかった。
- ・ 設置者は点検日には常に立ち会うべきと思いました。
- ・ 設備の防御、作業範囲、ルールの明確化する。

いいえ 32件 (35%)

機器の取付、更新の話があった場合は計画的に設備改善を行って下さい。

Q3. 事故後に改善した事がありますか？

はい 67件 (74%)

- ・ 機器更新、PASの設置
- ・ 停電対応マニュアルの再整備
- ・ ケーブルの更新とUGSの設置
- ・ 小動物侵入対策
- ・ 連絡方法（電話が不通になったため）
- ・ 休日日直者の事故発生時の連絡方法改善
- ・ 操作手順書を改定
- ・ パソコンのデータバックアップの徹底
- ・ メーカーによる精密点検の検討
- ・ 電気保安に対し今まで以上に関心を持ったこと

いいえ 24件 (26%)

事故により、突然停電となり、出費を要することになります。できるだけ、計画的に設備改修を行って下さい。

Q4. 事故が発生する以前に、事故の予知は可能でしたか？

はい 12件 (13%)

- ・ 2ヶ月前に事故の可能性について説明を受けていた。
- ・ 電気保安法人から点検時に設備改修要請があった。
- ・ 以前に全停電があり、長雨の時は心配していた。
- ・ 直近の年次点検で改修要望があり、工事見積もり中であった。
- ・ 絶縁抵抗が低下傾向にあり、電気設備の一括更新の相談を始めていたところでした。

いいえ 79件 (87%)

設備の不良は停電・感電事故の原因になる可能性があります。放置せず、まずは設備改修の検討を行って下さい。

Q5.事故発生時の緊急連絡体制は有効でしたか？

はい 80件（89%）

いいえ 10件（11%）

- ・担当者から事故の報告内容に不明な点が多く、管理技術者に内容が伝わらなかった。
- ・電気保安法人に自宅の連絡先を教えていなかった。
- ・事業場が無人のため連絡が遅れた。
- ・電気保安法人に連絡するのが1時間遅れてしまった。

速やかな連絡が、速やかな近隣への停電解消となります。
定期的な緊急連絡先の見直しを行って下さい。

Q6. 事故後、類似の事故を防ぐために行った行動・工夫・変化はありますか？

はい 48件（53%）

- ・PAS未設置の他店舗にPASの設置準備を行った。
- ・テナントとの連絡体制強化を行った。
- ・別の建物にもPASを設置予定。
- ・帰宅時はブレーカを切る（雷）。
- ・高圧電気室の再点検及び点検要領の見直しと再教育・訓練する。
- ・他店舗で対策設備のない店について、随時設備設置予定する。
- ・全事業場のPASの設置年を調査し、設備更新の計画を進めています。
- ・各拠点への報告による水平展開
- ・雷に対する社内教育を行った。

いいえ 43件（47%）

半数の方が事故による被害防止を行っています。日頃の対策で、事故時の被害を軽減させて下さい。

Q7. 事故後、会社の操業に影響はありましたか？

はい 53件（60%）

- ・店舗営業が5時間遅れた。
- ・製品に損失が生じた。
- ・店がオープンできませんでした。
- ・ファックス等通信関係もダメージを受けました。
- ・約4日間操業できなかった。
- ・停電による医療機器が使用できないため重症の入院患者を他の病院に移した。
- ・商業ビルにつき営業停止となった。
- ・作業中の物から不良品発生した。
- ・製品の納期に遅れた。
- ・テナント内の冷蔵庫内の物品が使いえなくなった。
- ・夜学授業の中止した。
- ・当日1日休校とした。
- ・事故のため幼稚園が休園となった。
- ・店舗の復旧に時間がかかり、開店時間が遅れました。
- ・商品の発送遅延のため、休日出勤となった。
- ・旅館業のため、利用者に迷惑をかけてしまった。
- ・各種管理機器が不良となり、製品生産ができなかった。
- ・2日間機械が止まってしまい生産が落ちた。

いいえ 36件（40%）

近隣への停電は平均約80分（20年度）で解消しますが、自らの設備は改修工事が必要となるケースがほとんどであり停電時間に長時間を要します。

会社操業停止のリスクを軽減するため停電事故を発生させないようにして下さい。

Q7. 事故に関して間接的なものも含めて損害額を教えてください。

700万円以下～500万円以上	4件
500万円未満～300万円以上	14件
300万円未満～100万円以上	36件
100万円未満	23件

設備の改修内容によって費用は異なりますが、仮設ケーブルのレンタル費用・緊急工事の費用等により、通常よりも費用が高くなります。

Q8. 事故に関する近隣・外部からの苦情等ありましたか？

はい	23件（25%）
いいえ	68件（75%）

近隣を停電させてしまった場合に様々な苦情が寄せられます。病院・交通機関を停電させてしまった場合は人命に関わる可能性もあります。

Q9. 今回の事故に関して意見・感想等がありましたらお聞かせ下さい。

- ・配電線を止めてしまい、近所に迷惑をかけてしまった事に深く反省しております。
- ・落雷によるもので、いたしかたないと考えている。落雷対応の機種に変更するのが精一杯である。
- ・電気の重要性を知りました。近所まで迷惑をかけ大変申し訳なく思いました。
- ・主任技術者が不在ということもありましたが、東京電力側も速やかに復電願いたい。
- ・キュービクルの保安点検は定期的に行っていたので、今回の「V C B」のトラブルには大変驚いた。
- ・今回の事故により近隣住宅の皆様や東京電力様、電気保安管理者及び御監督部へご迷惑をおかけしましたこと、大変反省しております。
- ・今回の事故が当社ならびに近隣に迷惑をかける事になったが、波及事故防止の為のPAS取付に関して東京電力はもう少しアピール及び指導ができなかったか疑問に思う。
- ・波及事故を発生させ、近所、テナントの方々に御迷惑をおかけしたことを深く反省しています。
- ・地球温暖化のためか、雷の発生頻度が数年前に比べ増えている様な気がします
- ・当日は事務長以下多数の職員が勤務中であったが休校日に発生した場合に問題あり。
- ・6600ボルトの電線が切断されるとは思わなかった。
- ・電気管理技術者の指導に基づき予防設置を行ったので、当面心配はないと思っている。
- ・避雷器内蔵でも直撃雷には有効性がないと知り自然の力には無力さを感じた。
- ・近隣の一般世帯を停電させた事は申し訳なく思っております。電気主任技術者からはPAS設置などを促されていますが、費用もかかる事ですので十分に検討したいと思います。
- ・電気事故の発生は突然で、しかもほんの一瞬で発生するため、真の原因の追及が困難である。今回も、自社側にも過電流ブレーカが遮断するしくみがあるのに、東京電力で遮断された。何故そうなったか、推測できても、確定にいたらない。スッキリとしない。
- ・雷はどこに落ちるか、予測不可能。落ちないと思ってた所に落ちた。
- ・昨年以上の落雷が多い時期であり、今回ピンポイントでの落雷は予測不能だったが、深夜にも関わらず敏速に対応して下さい。電気工事関係者の皆様には深くお礼申し上げます。
- ・今回の事故で自家用工作物に対し保険に入っているとは知らなかった。いつこのような事が発生するかわからない為保険加入をしておきたいと感じました。
- ・なぜ電気が来ないのか東京電力に電話したが9時迄連絡取れなかった。それまでは長々としたアナウンスが流れているだけで、緊急の場合最後迄聞いていられない。連絡とれたと思えば、「ああ、そうなんです。電気は止まっています。」との答え。ふざけるな。社員50名は出社しているのだ！と云いたい。

Q9. 今回の事故に関して意見・感想等がありましたらお聞かせ下さい。

- ・局地的な激しい雷雨による落雷被害については避け難いものと思われるが、事故発生後の速やかな連絡体制及び復旧体制が重要であり、再確認を行った。
- ・キュービクル内の高圧機器が被害が無く良かった。緊急連絡体制が良かったので早期の改修が行われ営業停止1日で済んだので安堵している。
- ・契約者としては電気の専門家ではなく、保守・点検は電気管理技術者に任せている。事故範囲に保守不備が起因しているとは納得しかねる。
- ・未設置であった遮断器の設置、避雷器の設置へ向け、現在諸手続中です。
- ・早く犯人を逮捕して欲しい。
- ・点検業者からの報告書では、2008年4月の時点では、「高圧機器の交換をお勧めします。」と書かれているが、すぐに修繕が必要、という危機感を感じられない。また、これ以降の報告書では、全て「異常なし」となっており、機器不良の予測は、不可能と考えられる。
- ・落雷は避けようがありませんが、波及事故で近隣に迷惑を掛けたことが一番心が痛みます。
- ・当ビル外まで事故が影響するのは、電力供給側の怠慢。その対策（UGS設置）をビルオーナー側に求めるのは、責任の転換であると考えます。
- ・波及停電を発生させ、近隣の方々に多大な御迷惑をおかけした事に対し、深く反省をしております。今後、このような事故を発生させないため、設備の見直しを進めていきたいと思えます。
- ・電気の必要性と怖さを改めて感じました。
- ・付近の多くの人々にご迷惑をお掛けし申し訳なく思っております。
- ・主任技術者は事故事例などを説明し、事故の危険性等を詳しく説明し、分かりやすく設置者にも、点検報告を提供すべきです。契約時は設置者本人のサインも行い、契約すべきです。
- ・電力会社から「事故防止のお願い」パンフレットを頂いておりましたが、まさか、このような事故が私どもの施設において発生するとは思っていませんでした。今後、事故を未然に防ぐ為の点検はもちろん対策の為の設備設置を行いたいと思えます。
- ・短絡事故等で波及事故防止のために、UGS・UASが有効であるなら機器の取付をもっと強力にアナウンスをされたら、又は、電力会社が取り付けることを考えたら良いと思う。
- ・作業者の誤操作について十分思い知らされました。電気事故の重大さを再認識しました。
- ・高圧ケーブル損傷による波及事故が発生し、非常に驚いた。建物施工時のミスが原因だと思いました。大変残念です。
- ・温暖化に伴う局地的な異常現象はこれから多発する可能性は大きい（落雷事故・風水害事故等）。
- ・電気の重要性が良くわかった。